

診断書の病名
に統一させる

病歴・就労状況等申立書

発病日は確定
日付でなくて
も良い

病歴関係	傷病名	うつ病	
この病歴関係の申立書には、障害の原因となった病気やケガについて、発病したときから現在の経過を記入して下さい。			
1	発病した時の状況と発病から初診までの間の状況について記入して	発病日	昭和(平成)14年6月頃日
		(発病したときの状況) 仕事や家庭のストレスで胃が痛くなり、近所の内科を受診した。	
		(発病から初診までの状況) 胃の痛みは改善せず、家族に精神科の受診を薦められた。	
2	初診時の医療機関の名称・所在地について記入して下さい。	初診日	昭和(平成)14年6月10日
		医療機関	名称 ○○内科 所在地 大阪府○○市○○町1-1-1
初診から現在のまでの経過を年月順に記入して下さい。(発病から初診までの期間が長い場合は、発病から現在の経過を記入して下さい)			
<p>1. 受診していた期間は、通院期間及び受診回数・入院期間、治療の経過、医師から指示されたなどを記入して下さい。</p> <p>2. 受診しなかった期間は、その理由、自覚症状の程度、日常生活の状況などについて具体的に</p> <p>3. 1つの期間が長い場合は、その期間を3年から5年ごとに区切って記入して下さい。</p>			
3	(該当する物に○で囲んでください) 受診 <u>した</u> ・ <u>していない</u> 昭和(平成)14年6月10日から 昭和(平成)14年6月19日まで (受診していた場合は医療機関の名称) ○○内科	左の期間状況 職場での異動があり、慣れない仕事に多くのストレスを抱えていた。 胃が痛くなったので近所の内科を受診した。 治療内容は胃薬のみの投薬。	
	上の段と日付を空けずに記入		
4	(該当する物に○で囲んでください) 受診 <u>した</u> ・ <u>していない</u> 昭和(平成)14年6月20日から 昭和(平成)15年3月31日まで (受診していた場合は医療機関の名称) ○○メンタルクリニック	左の期間の状況 初診から10日経っても胃の痛みはなくなり、家族の薦めで近所の精神科を受診した。 そこでうつ病と診断される。 結局仕事には慣れず、平成15年3月31日で退職した。	
	受診していない場合は「していない」に○印		
5	(該当する物に○で囲んでください) 受診 <u>した</u> ・ <u>していない</u> 昭和(平成)15年4月1日から 昭和(平成)15年5月10日まで (受診していた場合は医療機関の名称) 受診なし	左の期間の状況 病状は思わしくなかったが、金銭的に厳しくて受診できなかった。 家族とも離婚して平成15年5月5日に実家に戻った。	
	6	(該当する物に○で囲んでください) 受診 <u>した</u> ・ <u>していない</u> 昭和(平成)15年5月11日から 昭和(平成)15年6月10日まで (受診していた場合は医療機関の名称) ○○精神科	左の期間の状況 実家近くの○○精神科に転院した。 自暴自棄になって薬の過剰摂取で意識を失った。 家族に発見され○○病院に救急搬送された。

診療科が違ってても、初診の病院を記載

状況を要約して記載すること

上の段と日付を空けずに記入

受診していない場合は「していない」に○印

書ききれない場合は、病歴・就労状況等申立書を複数枚用意して下さい

